

Tsuyama College		Year	2022		Course Title	日本語検定	
Course Information							
Course Code		0050		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Department of Computer and Information Engineering		Student Grade		5th	
Term		Year-round		Classes per Week		1	
Textbook and/or Teaching Materials		参考書：『日本語検定公式練習問題集 2 級』『日本語検定公式過去問題集 2 級』『日本語検定公式テキスト「日本語」上級（1・2 級受検用）』（以上、東京書籍）など、日本語検定公式ホームページ http://www.nihongokentei.jp					
Instructor		EHARA Yumiko					
Course Objectives							
学習目的：日本語の総合的な運用能力を高め、コミュニケーション能力の向上を図る。							
到達目標 1. 日本語に関する知識を拡充し、多様な場面におけるコミュニケーションに活かすことができる。 ◎ 2. 効果的な説明方法や手段を用いて、コミュニケーションを図ることができる。							
Rubric							
	優		良		可		不可
評価項目1	日本語検定 2 級以上に優秀な成績で合格する。		日本語検定 2 級以上に良好な成績で合格する。		日本語検定 2 級以上に合格する。		日本語検定 2 級以上に合格できない。
評価項目2	日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かし、より良いコミュニケーションを行うことができる。		日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かし、円滑なコミュニケーションを行うことができる。		日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かし、コミュニケーションを行うことができる。		日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かしたコミュニケーションを行うことができない。
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		一般・専門の別：一般 学習の分野：国語 基礎となる学問分野：人文学／言語学 学習教育目標との関連：本科目は「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要：日本語（敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字）についての学習を自主的に行い、日本語検定の受験でその成果を試す。					
Style		授業の方法：担当教員の指導のもとに、日本語検定の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。 成績評価方法：日本語検定 2 級以上に合格した者は、担当教員に申し出るとともに、学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し、合・否で評価する。					
Notice		履修上の注意：所定の期日までに、選択科目履修願を提出すること。また、本科目は資格取得による科目であり、単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目の内、教務委員会で認定される単位数は、一般科目については4単位以内である。 履修のアドバイス： ・事前に行う準備学習として、日本語検定公式ホームページ等を見て、自分のレベルをチェックしておくこと。 ・一般会場（県内は岡山市と倉敷市に設置）で個人受験をすること。2022年度の検定日は、第1回が6月11日（土）、第2回が11月12日（土）。 基礎科目：国語Ⅰ（1年）、国語Ⅱ（2）、国語Ⅲ（3）、国語Ⅳ（4） 関連科目：日本語に関わる全科目 受講上のアドバイス： ・日本語検定は、「敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字」の6領域から幅広く出題され、合格には、全領域でバランスよく得点することが必要である。 ・2級は社会人・大学生レベルであるが、実力での合格は難しく、受験対策の勉強が必要である。自身の日本語能力と受験日に合わせて、学習を進めること。 ・日本語検定の受験結果には、「認定」「準級認定」「不合格」の3種類があるが、単位が認定される「2級以上に合格」は、「2級認定」「準1級認定」「1級認定」のいずれかである（「準2級認定」は含まない）。 ・力試しで受験する場合は、単位にはならないが、3級（社会人・大学生・高校生レベル）の受験を勧める。2級と3級を同時に受験することも可能である。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
選択							
Course Plan							
			Theme			Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	日本語検定についてのガイダンス。			単位認定の要件について理解する。	
		2nd	担当教員の指導のもとに、日本語検定 2 級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。			受験日を考えて勉強を進めることができる。	
		3rd	同			同	
		4th	同			同	
		5th	同			同	
		6th	同			同	
		7th	同			同	
		8th	（前期中間試験）				
	2nd Quarter	9th	担当教員の指導のもとに、日本語検定 2 級以上の受験に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。			受験日を考えて勉強を進めることができる。	
		10th	同			同	

		11th	同	同
		12th	同	同
		13th	同	同
		14th	同	同
		15th	(前期末試験)	
		16th	担当教員の指導のもとに、日本語検定２級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
2nd Semester	3rd Quarter	1st	担当教員の指導のもとに、日本語検定２級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		2nd	同	同
		3rd	同	同
		4th	同	同
		5th	同	同
		6th	同	同
		7th	同	同
		8th	(後期中間試験)	
	4th Quarter	9th	担当教員の指導のもとに、日本語検定２級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		10th	同	同
		11th	同	同
		12th	同	同
		13th	同	同
		14th	同	同
		15th	(後期末試験)	
		16th	合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。	期日までに単位修得申請手続きを行う。

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	Total
Subtotal	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0